

# 教職員自主的研究推進事業 実績報告書

研究グループ名【 SSE 研究グループ 】

代表者の所属・職・氏名	朝来市立 枚田小学校	連絡先	住所	朝来市和田山町和田山 474
			TEL	079-672-2049
	FAX		079-672-1137	
	e-mail アドレス		hirata-es@asago-net.jp	
	教諭 大槻かおり			

## 活動実績

研究テーマ	特別支援教育の視点からの創造 ～つなぐ・つなげる・つながる～
研究の概要	<p>◇ 5月30日【第1回打ち合わせ会】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実施場所：竹田コミュニティーセンター</li> <li>・話し合いの内容：今年度の研究テーマの決定 研修内容と担当者の決定 新メンバーの紹介</li> <li>・成果と課題：今年度は、SSE研究グループが発足してから10年目になる。この節目に今までの活動を振り返り、今後、私たちが目指していく研究の方向性について話し合うことができた。今年度も、自分たちの資質と能力を高めるための研修として事例検討会を継続して行うことと、公開学習会を実施し、メンバー以外の教員を巻き込んで、共に学び、特別支援教育の重要性を発信していくことを話し合った。しかし、活動内容が毎年固定化しつつあるので、今年度は「LD, ADHD等の心理的疑似体験プログラム」日本LD学会を購入し、講師認定講習会へ参加して、各校の校内研修で使えることを目指すことにした。</li> </ul> <p>◇ 6月25日【会員研修会：事例検討会】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・研修場所：竹田コミュニティーセンター</li> <li>・研修内容：SSE内で使用してきた事例検討のための様式及び流れの確認 メンバー2名が事例提供者となり、2事例を検討</li> <li>・成果と課題：主訴に対して様々な視点から「その児童をどう見たてるか」「課題を引き起こす背景は何か」に十分時間をかけたので、焦点を絞った対応策を練ることができた。しかし、予定時間を過ぎてしまったので、今後は、話し合いのポイント（主訴）を確認しながら進めることにした。</li> </ul> <p>◇ 7月10日【外部研修会に参加】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・研修場所：大阪医科大学 LDセンター</li> <li>・研修内容：「キレやすい子どもの理解と対応 アンガーマネジメントとは」</li> <li>・成果と課題：今まさに、キレやすい子どもへの対応は、喫緊の問題であったため、子どもの行動の背景をさぐる知見として有意義な会であった。また、今回は、メンバー全員で参加できたことにも意義があったと考えている。</li> </ul>

今年度も、土日や長期休業日を使って、LDセンター主催の研修会、S.E.N.S 兵庫の会の継続研修会、日本LD学会主催の研修会などに、声をかけ合い参加するようにしたが、メンバー全員がそろって研修することは難しかった。そこで、各自関心のある研修に参加し、研修してきたことは、出来るだけメンバーに伝え合うことにした。

◇ 7月29日、8月1日、8月10日【公開学習会】

- 研修場所：朝来市朝来公民館・和田山公民館
- 研修内容：「自閉症スペクトラムを中心とした発達デコボコの理解と支援」
  - 第1回 7月29日 「自閉症スペクトラムって？」
  - 第2回 8月 1日 「行動分析で見方を変えよう」基礎編
  - 第3回 8月10日 「行動分析で見方を変えよう」応用編
- 講師：一般社団法人トータルハーモニィの理事（社会福祉士）を招聘
- 成果と課題：今年度の学習会への参加者は55名（メンバーを含む）であった。公開学習会をすることで、朝来市を中心とした多くの教員の方々と校種をこえて共に学ぶことができた。今年も3回シリーズで研修を企画したが、研修の日を忘れず3回続けて参加された方も多く、特別支援教育についての関心の高さと、学ぶ機会を求めておられることが分かった。反面、回数を増やしたことで、日程調整や会場の確保に時間がかかった。

今年度は、「冰山モデル」や「ABC行動分析」などにも取り組んだが、グループワークでも活発な意見が交わされ、参加者の知識と意識の高まりを感じることができた。

◇ 10月16日【外部研修会に参加】

- 研修場所：大阪国際会議場
- 研修内容：「LD, ADHD等の心理的疑似体験プログラム第3版」講師認定講習会
- 成果と課題：「LD, ADHD等の心理的疑似体験プログラム」をSSE研究グループで購入し、メンバーの中の3人が、講師認定講習会に参加した。講習会で学んだことを活かしメンバーに伝えるため、SSE研究グループの会員研修に向けて準備を進めたが、DVDが上手く起動せず時間がかかった。

◇ 11月 5日【会員研修：「LD, ADHD等の心理的疑似体験プログラム」研修】

- 研修場所：竹田コミュニティーセンター
- 研修内容：講師認定講習会に参加したメンバーが講師を務め、実際に「LD, ADHD等の心理的疑似体験プログラム」を使って疑似体験を行う。
- 成果と課題：この研修のために、担当のメンバーが周到な準備をいていたため、DVDはやはり使いにくい場面があったが、研修はスムーズに進んだ。若手のメンバーからも、LD, ADHD傾向の子どもたちの心理がよく分かり、自分の教室での言動を振り返ったり、今後の子どもへの接し方を考えたりしたという感想が聞けた。児童理解を進めるために有効な教材であることが分かったので、今後購入した教材をSSE研究グループとしてどう活用させていくかが課題である。

◇ 1月21日【実践交流会（実践集原稿読み合わせ会）】

- 研修場所：竹田コミュニティーセンター
- 研修内容：各自今年度のテーマに沿った実践をまとめて持ち寄り、実践発表を行う。  
今年度の研究紀要としてまとめる。
- 成果と課題：大変忙しい時期であったが、メンバー全員が実践をもって集まることができた。  
実践集の原稿読み合わせのためだけでなく、自分の実践を自信をもって発表する場とした。後日、修正・印刷・製本を行い、1月29日に「SSE研究グループ 実践集 第7号」を完成させることができた。

◇ 1月29日【SSE10年目の座談会】

- 研修場所：市内小学校
- 研修内容：講師に、SSE研究グループを立ち上げられた元メンバーを招聘  
10年間の歩みについて話を聞く。  
「SSEを立ち上げられた経緯と10年間の思い」  
「特別支援教育の視点から、私たちは教師としてどのような力が必要か」  
「最新の特別支援教育の動向」について教えてほしいと依頼をする。
- 成果と課題：SSE研究グループの立ち上げに繋がる子どもとのエピソードや10年間SSE研究グループが取り組んできたことの振り返りを聞いていると、本当にたくさん  
のことを無我夢中でやってきたなと感じた。それは支え合う仲間がいたからだ  
と確信している。今一度初心にかえり、熱い思いをもって今までの取り組みを振  
り返ってみたい。また、新しくメンバーの若い力と知恵を上手く引き出し、今後  
の活動に新しい風を吹き込んでいきたい。